

活 用 事 例	大分市立野津原中学校	望月陽一郎教諭
活用事例タイトル	話し合う⑧・・・紙ベースによるプログラミング学習	
対象授業科目/活動	理科	
授業または活動の概要(目的、実施時期、授業の場合教科名や単元名、対象学年、参加人数、ICTの使用局面など)	<p>○生物分野「植物の分類」の場面で、既習の分類の仕方から、「ある植物がどの分類に属するか判断するプログラム」をグループごとにワークシート上に考えさせた。</p> <p>実際に、「提示された写真の植物」を分類できるかグループごとにテストを行い、うまく分類できたものを keynote で実際にプログラム化した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・使用教材・・・ワークシート（分類プログラムを考える） ・プログラム化アプリ・・・keynote 	
評価、振り返り（活動の評価や児童・生徒の声など）	<ul style="list-style-type: none"> ・どの特徴を組み合わせるとうまく分類できるかみんなで話し合った。 ・実際にプログラムになったものを見て、次は採用されるように考えようとグループ内で話した。 <p>などの感想がありました。</p>	
ICT 活用により期待できる効果 ICT 活用のねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・いきなりプログラムをするのではなく、紙ベースでしっかり考えさせることで、プログラミング的思考が身につく。 ・プログラムを考えることで、分類の仕方（教科の目標）が定着する。 	